

楽しいワクワクする生活しませんか？ 41

うるまカイロでは毎日の生活をハッピーワクワク をモットーとしています。

私、松野は過去のストレスから体調不良をおこし、ストレスとはなんだろう？と興味を持ち
今ではメンタル心理カウンセラーの資格まで取得しましたが、私と同じようにストレスを抱えて、そのストレスから痛みや病気に派生して苦しんでいる人も多いように思えます。

きじポ～新聞では、日頃のストレスや心の健康を意識できるように、そしてみなさんと一緒に
高齢になっても元気に動けるハピワク健康長寿な生活ができればいいな～と思い書きます。

「健康第一！、病は気(意識、イメージ、元気)から！」



さて今回も前回に続き、心に響く格言を「鬼滅の刃」から抜粋して書きます。

鬼滅の刃とは、家族を鬼に惨殺された少年(竈門丹次郎:かまとたんじろう)が鬼に復讐する漫画。

このアニメには、多くの鬼がいますが過去、鬼なりにかわいそうな人生を送っていたことがあります。
その辛い人生の最後に、無惨(ラスボス)に騙されて鬼になることを選択することが多いのですが、中には、どうしようもないクズの鬼もいます。

どうしようもないクズの鬼、NO1「鬼舞辻無惨(きぶつじ むざん)」ラスボス。

凄い名前してますが、親がこの名前つけたのでしょうか。。。

このアニメの時代設定は、大正か明治になっています。

無惨は、幼少期からとても病弱で、医者はずっと診てもらっていますが、成人になってもなかなか病態がよくなりません。

そこで無残は血迷い、その医者を殺してしまいます。

しかしその後、医者の治療効果が現れ次第に元気になるのですが、副作用で鬼になってしまいます。
ですが、医者を殺した為に副作用を止める方法がわかりません。

「感謝がない。足りない。」

普段の生活でもそうなのですが、今の生活が当たり前と思っていると感謝を忘れてしまいます。

両親からの愛情が特にそうですよね。

これを書いている私でさえ、がんばって「ありがとう」を言うようにしているくらいで、自然にはでてきません。

その愛をないがしろにするのが、鬼です。

無残は、自分勝手のオンパレードです。

エネルギー源は人間、そのためにたくさんの命を奪います。

また自分を守るために自分と同じ鬼を作ります。

その作った鬼も自分の言うことを聞かければ頭の中で念じるだけで殺すことができます。

子分の鬼は、殺されたくないのと言うことを聞くしかありません。



鬼舞辻無惨(きぶつじ むざん)

12月から新しくスタートする毀滅の刃(遊郭編)に登場する鬼も性格が悪いのですが、生まれた時から性悪だった訳ではありません。

登場する鬼は「妓夫太郎(ぎゆうたろう)」と「墮姫(だき)」という2人で、兄妹です。